

横浜市立鴨志田緑小学校 平成 29 年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<p>○豊かなふれあいを大切にしながら、子ども一人ひとりが心から安心して楽しく過ごせる学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが自分の考えをもち、伝え合う力を高めることを通して、『学び合う楽しさ』を実感できる授業づくりを推進します。 ・縦割り活動を通して、相手の思いや立場をよく考えて行動し、温かく協力し合える姿勢を育てます。 ・地域の方々とのふれあいを大切に教育活動を進め、地域の方々の思いを受けとめ感謝する心、ふるさとのまちを愛する心を育てます。 ・一人ひとりが自分のよさや友だちのよさを認め合い、共に力を合わせて学校生活を送れるよう、丁寧な児童指導、児童支援を推進します。 ・健康な心身を育むための体力づくりや基本的な生活習慣づくりを推進します。 	

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

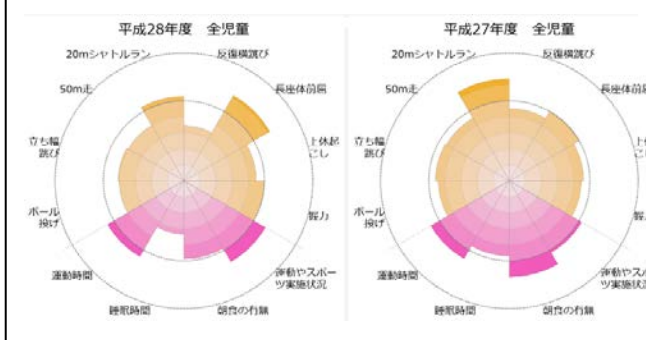
重点取組分野	取組目標	具体的取組
健やかな体	長縄やマラソン等へ子どもたちが主体的に取り組み、体力向上を目指せるようにする。よい姿勢を維持するための取り組みを通して健康への意識を高める。	<p>① 児童運動委員会が計画的に進める『長縄大会』や『マラソン週間』の取り組みを通して、体力向上のための活動に取り組む。</p> <p>②保健委員会が進める『健康な歯』への取り組みを行い、規則正しい生活と健康な体づくりに向けての意欲を高め、一人ひとりの健康的な生活習慣の向上を目指す。</p>
担当	体育部	

2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・休み時間に校庭で鬼ごっこやドッジボール等をして、体を動かしている児童は一定数いる。
- ・10月から3年生以上を対象に特設陸上クラブが早期練習行い、体力向上を図っている。
- ・特設陸上クラブの影響か低学年のマラソン習慣への取り組みの意欲が高い。
- ・地域のスポーツクラブには約7割の児童が所属しており、運動の機会がある。
- ・週に3回以上運動をする児童とそうでない児童の割合は半々ぐらいである。
- ・睡眠時間が6時間未満の児童が1割程度いる。

(2) 体力の概要と要因の分析 (小学校は全校配付の体力・運動能力調査分析チャートを活用)



新体力テストの結果から持久力が横浜市の平均より高いことがわかる。これは特設陸上クラブやマラソン週間の成果がでていていると考えられる。

他種目に関しては、基礎体力や技能の低下、運動経験不足が関係しているのではないかと考える。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科・保健体育科での取組》

- ・体育科では、運動の楽しさやできる喜びを実感できるようにし、自ら目標をもって、主体的に運動に取り組めるようにする。

《他教科での取組》

- ・生活科では、安全な遊びや生活が送れるようにする。
- ・家庭科では、食育等と関連させながら、健康的な生活が送れるように取り組む。

道徳・特活・総合

- ・運動会では、体育科で培った資質能力を発揮できるよい機会と捉えて積極的に活用する。
- ・運動委員会で体育的な全校参加イベント（ドッジボール大会・長縄大会・マラソン週間）を計画・実施し、全校児童の運動量の増加を図る。
- ・地域のマラソン大会等の行事では、保護者、地域、近隣の大学、スポーツ団体と協力し、児童の安全と健康の促進を図る。

課外活動

- ・特別陸上クラブ活動
- ・地域のマラソン大会への参加
- ・歯みがき週間
- ・歯科衛生士による歯みがき指導
- ・小中合同による学校保健委員会

平成29年度 鴨志田緑小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 運動委員会による体力アップ計画

《ねらい》 継続的な運動機会の確保

《内容》 長縄大会：長縄跳びに学級で取り組み、それぞれのめあての達成に向けて大会を行う。長縄跳びをきっかけに運動への興味・関心をもたせ、運動機会の定着をはかる。マラソン週間：気持ちよく走り続けることが体力の向上につながることを児童に伝え、冬季（12月～1月ごろ）体育授業と関連して継続的な活動を行う。

●指 標： ①振り返り 「記録カード」

②生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「1日の運動スポーツの実施時間」から検証する。